

SEJにおけるSDGs

『サステナブル＝持続可能』な社会を実現する

5つの重点課題	主な取り組み・サービス	対応するSDGs目標
高齢化、人口減少時代の 社会インフラの提供	・お届け・移動販売サービス ・地域における見守り協定の締結	  
商品や店舗を通じた 安全・安心の提供	・保存料、合成着色料不使用 ・コールドチェーン	    
商品、原材料、エネルギーの ムダのない利用	・太陽光発電パネルの設置促進 ・店舗における照明のLED化	    
社内外の 女性、若者、 高齢者の活躍 支援	・セブんなないろ保育園の開園 ・シニア向け「お仕事説明会」	    
お客様、お取引先を巻き込んだ エシカルな社会づくりと 資源の持続可能性 向上	・セブン-イレブン記念財団との協働 ・小型ペットボトル回収機の設置 ・環境に配慮した包装パック	        

長鮮度商品のアイテム比率

現在、デイリー商品の7割以上は長鮮度商品

※「長鮮度商品」の定義：24時間以上販売鮮度のある商品を「長鮮度商品」と呼称

1987年



24時間以上の販売鮮度がある
デイリー商品(アイテム数比率)

ほぼ無し

※0.9%

現在



24時間以上の販売鮮度がある
デイリー商品(アイテム数比率)

70.9%



長鮮度化による効果

◆鮮度延長の状況

2017年
菓子パン



+13時間

2017年
惣菜



+1日

2018年
サラダ



+1日

2018年
チルド弁当(一部)



+1日

2018年
サンドイッチ



+8時間

2019年
寿司

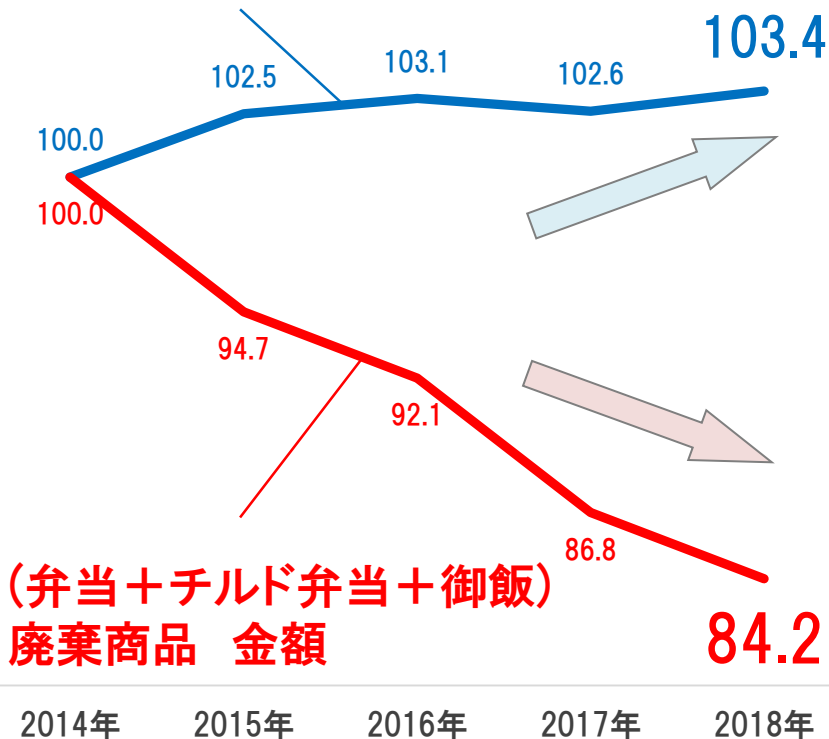


+8時間

※推奨エリア/商品により一部鮮度は異なります

◆年度別金額指数 全国 ※2014年を100

デイリー販売金額



イノベーションにより『長鮮度化による廃棄商品の削減』と
『味・品質の向上による販売伸長』を実現

フードロス削減の取組み(エシカルプロジェクト)

- ① nanacoポイントによる販促策
- ② 加盟店負担なし
- ③ 販売期限3～5時間前のデイリー商品にポイント5%を付与

※販売期限：賞味期限の2時間前

※北海道・四国でテスト中、時間とポイント率は変更可能



①加盟店
売上の伸長
廃棄商品削減



②お客様
ポイントの獲得
エシカル活動参加



④本部
ブランド力向上
ポイント来店促進

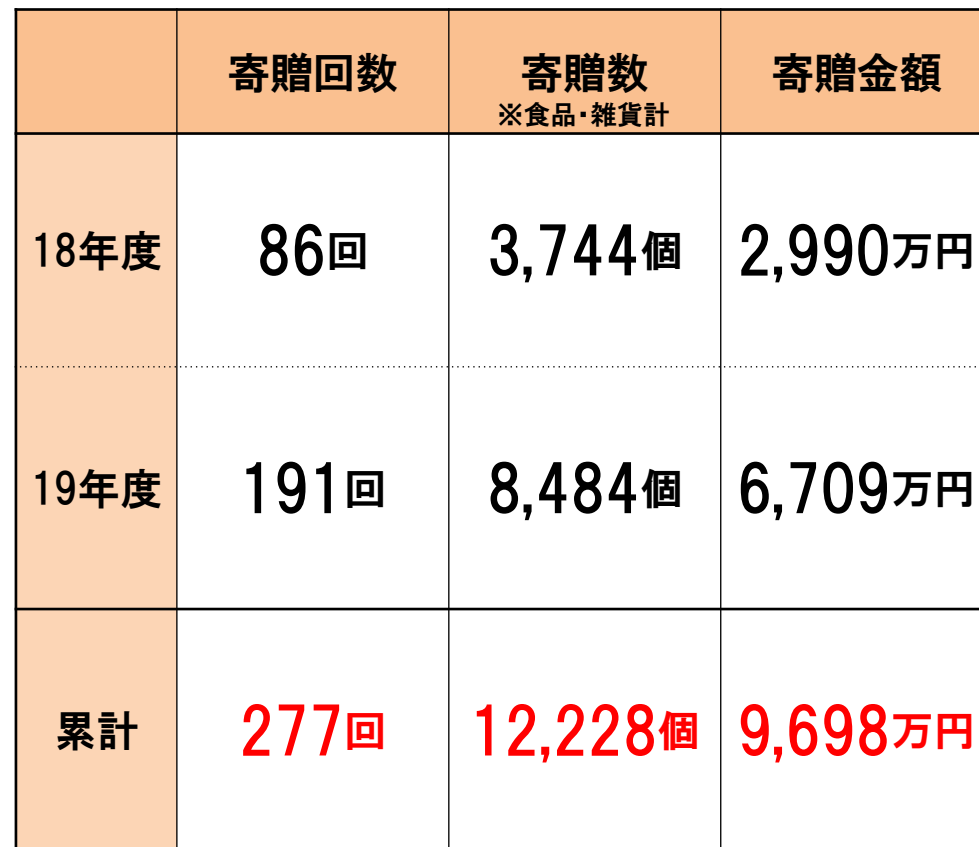


③社会
資源の有効活用
ゴミの削減

『四方良し』の取組み



◆寄贈に関する協定(19年11月現在) ◆寄贈実績(19年10月現在)



アイスクリーム等の温度管理が必要な商品

食品リサイクルの推進

推奨した廃棄物処理業者が各店舗から排出廃棄物を一括して収集し、適切な処理とリサイクルを効率的に実施



2019年10月末現在: 21都府県 **4,420**店舗
(2017年度実績: 食品リサイクル率 **54.3%**)